

社会資本整備審議会 道路分科会

第26回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日時 令和元年8月7日(水) 10:30~11:45
2. 場所 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
3. 出席者

[委員]

飯塚	敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授
浦尾	たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
川本	義海	福井大学 学術研究院工学系部門 教授
小林	潔司	京都大学 名誉教授/京都大学経営管理大学院 特任教授
玉岡	かおる	作家/大阪芸術大学大学院 教授/兵庫県教育委員
榎村	久子	京都女子大学 宗教/文化研究所 客員研究員
宗田	好史	京都府立大学 副学長/和食文化研究センター長/ 生命環境学部 教授
◎山下	淳	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

(1) 計画段階評価について 播磨臨海地域道路

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■計画段階評価について

- ・複数ルート帯案及びアンケートの実施方針について承認。
- ・東西の交通を1本で支える国道2号BPの老朽化や渋滞の慢性化による物流への影響などの課題が大きく、新たなルートの確保が急がれる。
- ・道路の整備と合わせた地域のまちづくりについて、沿線自治体と連携して進めるべき。
- ・アンケートについては分かりやすい説明資料になるよう配慮してほしい。
 - 1) 現国道2号BPの交通集中や老朽化などの現状の課題を明確に記載
 - 2) JCTの接続方法など、各ルート帯案の違いを分かりやすく記載 など
- ・アンケート手法については、多くの人に協力していただけるように配慮してほしい。特に、若い人達の意見を取り込めるようにSNS等を活用したアンケート周知も検討すべき。
- ・政策目標に記載されている「産業交通の排除」について、南北道路から新たなルートへの産業交通の転換を目指すという趣旨であり、適切な表現に変更した方が良いのでは。

以上